

6月の 園便り



「むめさんのごんぼ」

21年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

幼稚園では、子どもたちがどのようなことでも保育者に言えるように、子どもの思いを大切に受け止め、可能な限り実現してあげること、そしてあなたのことが大好き、あなたのことが大切という思いが、一人ひとりに伝わるように心をこめて接しています。(実現できないこと、やっではいけないことは、丁寧に説明して分かってもらいます。繰り返し伝えていけば、分かる子どもたちですから……) こうした接し方を続けると、子どもたちは人を信頼する力を持ち、自分に自信をもっていくことができるようになります。“あなたが大好き、そのままのあなたでいいのよ”という思いが伝わると子どもたちは驚くほど変わります。愛されている、認められている、だからこそ自分を表現することができますし、意欲を持って生きることができます。青陵幼稚園のこうした基本方針がよくわかる文章(「佐々木正美ノート」より)に出あったのでお知らせしますね。

『斉藤環先生という青年精神医学の先生が、毎日新聞の論壇で「昨今の子どもたちには根拠のない自信を育ててあげたい」といていたそうです。私たちは根拠のある自信ばかり育ててしまいます。根拠のある自信が悪いわけではありません。勉強ができるから自信がある。スポーツができるから自信がある、バイオリンができるから自信がある、これは根拠がある自信です。しかし、根拠のある自信しか育てることができないということが、どれだけ不幸なことかということ、私たち臨床医はいやというほど思い知らされてきました。……中略……根拠のある自信の前に、根拠のない自信を育ててあげることが必要です。この根拠のない自信をどうやって育てるかということ、どれだけ安心して親に甘えられるかとどれだけ安心して親に言いたいことがいえるか反抗できるかなのです。子どもが甘えたいときに十分甘えさせる。子どもが生意気な憎まれ口をたたいたときに、どれだけ上手に受け取れるかということで根拠のない自信は育っていくのです。』

子どもが生まれたとき、あるいは子どもが病気になったとき、本当に何も望まない、いてくれるだけでいいと思うものですが、日常においては、この思いはなかなか持ちにくいですね。こうして欲しい、こうなって欲しい……わが子のためにと考えると、いろいろな要求がでてきてしまっていて、つい口うるさくなってしまっていて……ということがあります。子どもを育てているつもりでも、私たち大人は、子どもによって育てられているのだらうと思うのです。自分自身の思いを抑えて、子どもの思いを受け止めるということを通して、私たちは自身の内面を試され鍛えられているのだと思います。子どもたちは私たち大人にとって素晴らしい教師であるといつもいつも思うのです。

6月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	月	○	2:00	幼児教育学科第2班の実習が始まります。よろしくお願いいたします。	
2	火	○	2:00	歯科検診が行なわれます。(赤ばら1組白ばら1組青ばら2組)	
3	水	○	2:00	歯科検診が行なわれます。(赤ばら2組白ばら2組青ばら1組)	
4	木	○	2:00		
5	金	○	2:00		
6	土	×	11:30	自由登園日	
7	日	/	/		
8	月	○	2:00		
9	火	○	2:00		
10	水	×	11:30	誕生会です。6月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
11	木	○	2:00		
12	金	○	2:00		
13	土	/	/	第2土曜日	
14	日	/	/		
15	月	○	2:00	幼児教育学科第3班の実習が始まります。よろしくお願いいたします。	
16	火	○	2:00		
17	水	○	2:00		
18	木	○	2:00		
19	金	○	2:00		
20	土	×	11:30	自由登園日です。	
21	日	/	/		
22	月	○	2:00		
23	火	○	2:00		
24	水	○	2:00		
25	木	○	2:00	各学年1組の参観日です。詳細は後日お便りでお知らせいたします。	
26	金	○	2:00	各学年2組の参観日です。詳細は後日お便りでお知らせいたします。	
27	土	/	/		
28	日	/	/		
29	月	○	2:00		
30	火	○	2:00	プール開きを行ないます。水着の用意等は別途お知らせいたします。	